

9月例会を終えて

主幹 連携推進会議 議長 蜂谷悠介



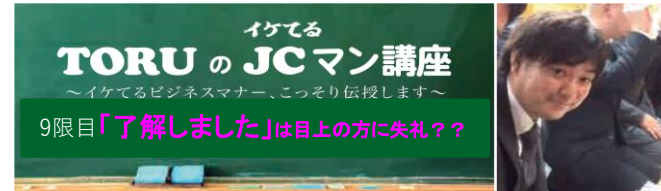
2017年9月1日（金）～3日（日）の三日間、岩手県奥州の地で、東北青年フォーラムが開催されました。初日の役員会議、ウェルカムナイトからはじまり、2日目の午前中には、公益社団法人白河青年会議所のメンバーとの意見交換会が開催されました。お互い県の最南端に位置し、町やLOMの規模などの共通点もあり、共に刺激し合える同志として今後も交流を深めたいと感じました。メインフォーラム「デフレのムコウ・・・シン・バブル到来 ～ここから始まるNext Innovation～」では、経済評論家の三橋貴明氏、タレントで元衆議院議員の杉村太蔵氏、財政破綻した夕張市の診療所所長を勤めた経歴のある医師の森田洋之氏がご登壇され、パネルディスカッションを行い、これからの東北の在り方、我々が取るべき未来へのアクションについて「真実の一つ」「明確な未来へ！」の2つのテーマで熱く議論が交わされました。ライブ投票によって、傍聴者も議論に参加でき、とても素晴らしいフォーラムでした。本大会は私たちにとって、学び・気づきを得ることができる充実した一時となりました。これからの東北の未来を共に考え「東北は一つ」運命共同体という結束がより一層深まったと思います。3日には、当LOMの阿部徹君が出向している東北ゼミナール委員会の第五講座、閉校式が行われました。徹君一年間お疲れさまでした。そして、次年度の大活躍を期待しております。



理事長の今月の格言

金を残して死ぬのは下だ。事業を残して死ぬのは中だ。
人を残して死ぬのが上だ。

b y 後藤新平



「了解しました」は、「了解」に「しました」をつけた丁寧語で、尊敬語ではありません。部下や同僚に使う場合は問題ありませんが、目上の人やお客様に対して使うのは失礼にあたるようです。「承知しました」「かしこまりました」が適当です。日頃から気をつけて、ビジネス力を身につけましょ！



さて、前日須川登山で疲れた身体にムチをうち、アストロマン大東へ！この体重を支え一生懸命頑張ってくれた足腰の労をねぎらうまでも間もなくのアスレチック・・・身体が悲鳴をあげていました。須川登山を舐めていたこと、先月の2時間で潰れたダイエット宣言を後悔しつつも、今年度民区のPTA会長を妻がやっているため、手伝わないわけにもいかず・・・。実は、私アストロマン大東ははじめましてです！数多くのアスレチックと101mのローラー滑り台や色々な体験や自然と触れ合うことができ、子供たちにとってはとても楽しい場所です。その中で、パン焼き体験を行い、お昼は昨夜に引き続きまたもやバーベキュー、ダイエットとは間逆の生活ですが、保護者の皆様と子供たちと楽しい時間を過ごせました！民区の中には居酒屋さんを経営しているお父さんの作った焼きそばが大盛況！焼きそばを焼くコツを皆で教わりました！その、コツとは・・・知りたい方は5民区に引越してきてください(笑)子供たちを先に食べさせ、のんびり大人バーベキューを行っているとき・・・なんと娘がよそ見をしてアスレチックから落下(約2mほど)・・・口の周りが血だらけになり、見ず知らずの人がおんぶをして連れてきてくれました。抜けかかっていた歯が抜け、唇の上下を4ヶ所切り泣きながらの登場・・・すぐさま病院に。大事には至らずホッとし、反省と娘をおんぶして連れてきてくれた方に感謝をした1日でした・・・なんと、親子そろって歯がない・・・(笑)というわけで、皆様！アスレチックで遊ぶ際はしっかり子供を見て、怪我の無いよう楽しく遊んでください★10月もネタを探しどこかに行かなければ・・・次はどこにしようかなあ～！



私の趣味は「登山」です☆きっかけは3年前くらいの「山ガールブーム」に乗って始めて、今でも年に数回は登っています(*^^*)その中でも地元「栗駒山」は出勤前に登る程(登山の基本は日の出と共に開始し正午には下山開始)馴染みのある山なのですが、今月10月例会として小学4.5.6年生と登った時はいつものルートがかなり長く感じました(°Д°)原因は何度もある休憩・・・私は「ハイドレーションシステム」(飲物を活動しながら給水できる)をザックに装着しているので登山中に飲物をザックから出し入れする手間も時間も必要なく、むしろ休憩は立っての5分以内、座る事は昼食時しかない。というのが当たり前には休憩が苦痛でした(笑)前日メンバーに言おうかな？と頭をよぎったのですが、子供じゃないんだし(°Д°)と思って言わなかった事が登山の前日は「足の爪を切ったほうがいいい」です！下山でつま先がやられて爪が割れたり痛くなったりしますから(°Д°)でも栗駒山くらいだったら大丈夫だったかな？今回の登山に小学4年生の愛息も参加☆もちろん前日には足の爪を切ってあげました(#^_^#)頂上には辿り着いた者にしか見れない景色・時間があります。ゆっくりでも諦めず1歩1歩進めば必ず頂上に辿り着けます。そして、引き返す勇気も必要。これが中々難しい・・・山は奥が深い！面白い！山！最高！！



青年会議所 JCとは

青年会議所(JC)は「明るい豊かな社会」の実現を理想とし、次代の担い手たる責任感をもった20歳から40歳までの青年の団体です。人種、国籍、性別、職業、宗教の別なく、自由な個人の意志によりその居住する各都市の青年会議所に入会できます。日本の青年会議所運動は、現在697の地域約36,000名の会員を擁し、全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所が東京にあります。全世界に及ぶこの青年運動の中枢は国際青年会議所ですが、100以上の国及び地域に117のNOM(国家青年会議所)があり、約16万人の会員が国際的な連携をもって活動しています。日本青年会議所の事業目標は、「社会と人間の開発」です。その具体的事業としてわれわれは市民社会の一員として、市民の共感を求め社会開発計画による日常活動を展開し、「自由」を基盤とした民主的集団指導力の開発を推進しています。さらに日本の独立と民主主義を守り、自由経済体制の確立による豊かな社会を創り出すため、市民運動の先頭に立って進む団体、それが青年会議所です。